

新潟県

公民館月報

昭和53年4月号

発行所 新潟県公民館連合会

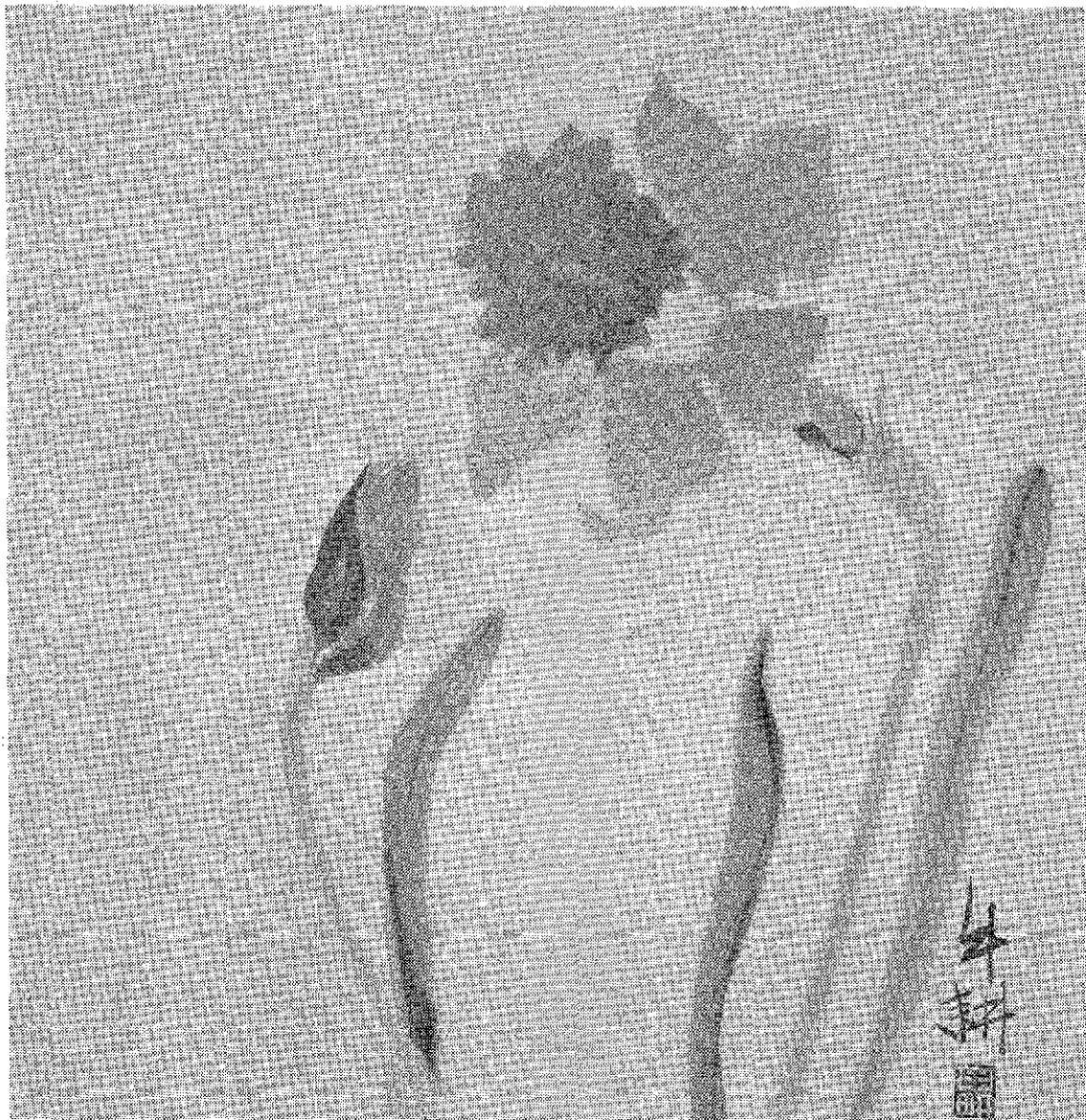
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共・年鑑 840円】



融雪期

積雪の表面で起こる熱の交換には、輻射による熱交換、熱伝達による空気との間の熱交換、水蒸気の蒸発・凝結による熱の得失、積雪内部との間の伝達による熱交換がある。これらを差し引いてなお雪面が得る熱の方が失う熱より多い場合には、雪面温度を高めて雪を溶かすことになる。融

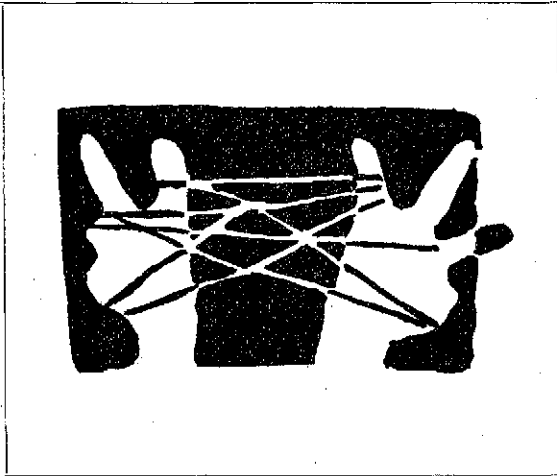
雪にもっとも寄与するのは気温と日射である。一般に湿った温度の高い空気が雪面に接する量が多いほど融雪量は多くなる。気圧配置からいうと日本海に発達した低気圧がある時にこのような気象状況になりやすい。春先になると融雪により河川の水位は次第に増加する。このときの水位の日変化は明瞭である。融雪洪水は雪の降るときに起こりやすいが、雨自身を降らせているときの気温が高いことが原因である。従って融雪洪水は、雨による水の増加と、気温による融雪水が重なって生ずるものである。県下の河川では、融雪期の平均水位は四月下旬の初めころが最も高い。また融雪洪水は、暖候期の洪水にくらべるとゆっくりと水位が上昇し下降するのが特徴である。（新潟県大百科事典による）「雪どけのころに咲くスイセン」。梅堀・小柳耕司（一水会々員で、昨秋サロソ・ド・トーマス展入選を果す）

第二回評議員会

53年度計画を策定

課題残した事務局の移転

さる三月三十日、新潟市白山会館で昭和五十二年度第二回評議員会が開かれた。付議事項の新年度事業計画、収支予算案など四条件は別稿のとおり承認された。なお、年度変りの時期でもあり昭和五十二年度をもって公民館から他へ転じることになった池田稔氏(本会副会長、上越市)駒形一郎氏(本会副会長、長岡市)桑原栄治(加茂市)などから、お別れのあいさつがあり、これに対し石井会長からねぎらいのことが送られた。



議事

1. 報告事項

①第26回全国公民館大会結果について
全公連と天会現地事務局で編定した第26回全国公民館大会決算書の内訳収支七百七十四万四千二百円也を承認した。

②公民館振興市町村長連盟設置部野立経過について
昭和五十二年十月六日設立された同会員は、その四十七市町村長に増加したことが報告され、新潟加盟市町村長の拡充方策が話しあわれた。

③昭和五十三年度公民館施設改善補助結果について
既報のとおり総額九十億一千六百万円を獲得した。これは前年度に対し五六パーセントの伸びである。本県における対象館は、新潟(地区鶴)水原、弥彦、村松、柏崎(二地区)、小出(地区)、小千谷(地区)、燕(地区)などである。

④昭和五十三年度全国公民館大会について
昭和五十三年十月二十四、五日、香川県高松市で第一回全国公民館研究集會が開催されること

ともに、あわせて第一回全国公民館振興大会が十一月下旬東京で開かれることになった。

⑤県公連事務局の移転について
昭和五十三年三月二十七日をもって本会事務局は左記に移転し、直通電話が架設された。

千九五一 新潟市川崎町二ノ九 県林業会館内
新潟県公民館連合会
電話 0252 6073

移転にもなる課題は、予算更正で対処することになった。

2. 議定事項

①昭和五十三年度決算報告および歳入歳出決算見込について
会務報告は略、歳入決算見込九百九十八万七千九百五十七円、歳出見込九百九十三万二千六百四十四円、繰越し見込額五万五千七百九十二円を承認。

②昭和五十三年度県公連事業計画および歳入歳出予算について
(事業計画は別稿) 歳入歳出予算九百六十九万二千円を承認。

③昭和五十三年度新潟県公民館大会について
会期 昭和五十三年九月一日

会場 上越市文化会館
主題 住民参加による公民館活動の推進
等を手承し、細部については今後さらに検討していくことになった。

④昭和五十三年度県公連市町村員担金の賦課額算定基準について
県市長会、同町村会の査定結果をもとに賦課総額三百四十四万四千円を、平均割三〇パーセント、人口割七〇パーセントとして算出、平均割は千市総額五十二万八千四百円、十五郡九十二町村三十八万八千円とし算定した一覽表を手承した。

53年度県公連の活動重点目標

地域における社会教育のセンターとしての公民館の振興に関しては、多年にわたり市町村はもとより、国政の場においても努力を重ねているところであるが、県における施設の整備ならびに職員の充実のための行財政施策は、各般にわたり低調をきわめ、本県市町村公民館活動全般にわたる停滞を余儀なくさせられているのではないかと見られる。

ことに近年、本会をはじめとする社会教育関係団体育成の熱意が欠如していると思われることは、まことに遺憾であるのみならず、その姿勢の間われるところである。

よって、下記の重点目標をかかげ、組織的運動を拡充強化していこうとするものである。

記

1. 公民館振興市町村長連盟県支部と提携し公民館振興に関する国および地方公共団体の行財政施策の強化促進に資する。
2. 公民館をめぐる諸制度改善方策の一環として社会教育法全面改正への世論を高め、全公連の策定した「公民館のあるべき姿と今日的指標」の具現をはかる。
3. 県社会教育協会と提携しとくに県における社会教育行財政施策の抜本的強化を促進するようはたらきかける。
4. 県公連の財政力を強化し、健全なる事務局体制を維持するためとくに予算措置に関し県の抜本的な協力を要望していく。

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営設備基準・通達「公民館基準の取り扱いについて」
A5判 34ページ
一部二五〇円送料別
公民館関係の諸会誌にご使用ください。
申込先・県公連事務局

昭和53年度県公連事業計画

1. 連絡協議

- (1) 全国公民館連合会総会 1回
- (2) 都道府県公連事務局長会議 1回
- (3) 関東甲信越静公民館連絡協議会総会 1回
- (4) 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会 1回

- (1) 県公連評議員会 2回
- (2) 県公連理事会 4回
- (3) 県公連監事会 1回
- (4) 県公連編集委員会 2回

- (1) 全国公民館研究集会
(10月24日・25日香川県高松市)
- (2) 全国公民館振興大会 (11月下旬 東京都)
- (3) 公民館施設国庫補助増額運動 (12月下旬東京都)
- (4) 関東甲信越静公民館大会 (9月茨城県水戸市)

2. 研修会・講習会

- (1) 県公民館研究大会の共催 (上越地区)
- (2) 上中下越主催の大会・研修会・講習会の共催
- (3) 各郡市公連大会・研修会・講習会の共催
- (4) 県公民館長研修会の協賛
- (5) 県公民館職員講習の協賛

3. 資料発行・あっせん

- (1) 「新潟県公民館月報」の発行

- (2) 「公民館関係法令・解説」の発行

- (3) 「月刊公民館」の発行事務に協力
- (4) 社会教育関係優良図書紹介あっせん

4. 社会教育関連機関・団体との提携事業・運動

- (1) 県社会教育協会の事業に協力
- (2) 県社会教育団体の事業に協力
- (3) 県広報協会の事業に協力
- (4) 県図書館協会の事業に協力
- (5) 泰仕銀行事業に協力
- (6) 行政監察相談事業に協力
- (7) 安全会議事業に協力
- (8) 明るく正しい選挙推進運動に協力
- (9) 貯蓄推進運動に協力
- (10) 新生活運動に協力
- (11) 健民運動に協力
- (12) 交通安全運動に協力
- (13) 緑化推進運動に協力
- (14) 献血運動に協力
- (15) 環境衛生推進運動に協力
- (16) 社会を明るくする運動に協力
- (17) 青少年育成運動 (県民会議) に協力
- (18) 国民体力づくり運動に協力
- (19) 子供を水から守る運動に協力
- (20) 親切運動に協力
- (21) 人権運動に協力
- (22) 各種週間運動に協力

長年の実績と信頼を誇る 記念品シリーズ

◎本書はどのように広く利用されていますか
 全国市町村の成人式・各学校の卒業記念品・就職
 祝い・青年学級・婦人学級・社内教育のテキスト
 や各団体の賞品等にも大好評！
 ※ご希望により、宛封・封筒印刷をいろいろの特典があります。
 その他、注文取扱より特価奉仕いたしますので、お気軽にお
 問い合わせください。

社会人手帳

文学博士 木下一雄 監修
 新書判三頁定価四五〇円送料実費
 記念書格として全国一の実績めざまし、既に三巻を越える青年
 にご利用いただいております。社会人として欠かせない知識と教
 養を高めるポケット百科事典として大好評。

社会人と法律

弁護士 中村 弘 監修
 新書判三頁定価五〇〇円送料実費
 法律の無知から人生を過すことがあります。法律常識を平易
 に懇切に解説し、日常の暮らしに直ぐ役立つ、特に社会人として業
 立つ者への記念として毎年採用が増えています。

社会人とエッセイ

日本社会教育普及会 編
 新書判三頁定価四四〇円送料実費
 エッセイの精華をよくわきまえてあるかどうかは、人間関係
 を左右するカギであると云われています。茶本から応用動作を写
 真や図を多く載せた、携帯便利なポケット版です。

考える本

日本文学研究社 永井三郎 監修
 普及版三頁定価五〇〇円送料実費
 各分野の一流講義が寄せる示唆に富む、珠玉のエッセイ40編
 を中心に、人間として生き抜くために「考える」ことを原点
 とし、若者の思索を刺激し、価値を創造する本。

新しい人生

法学博士 中村 哲 監修
 新書判三頁定価四四〇円送料実費
 人生の師となる入念の金言・教訓をはじめ古今東西の詩や歌、
 格言等を摘載し、とかく物質文明に流され易い現代、新しい人生
 に船出する若者の心の糧となり読本としても好適。

日常出版株式会社

郵便番号一三二(東大正門前)
 東京都文京区本郷六一九一五
 本郷局私書箱十三号
 電話(03)八二二一三〇一
 振替口座 東京三八九一

公民館活動

②

従来、地区における新しい住民組織づくりの推進方法として

- 地区内機関、団体代表者懇談会あるいは地区振興座談会の開催。
- 啓発用広報の発行、配布。
- 先進地区の施設見学と先進地区リーダーとの交歓研修の実施。
- 地区内コミュニティリーダーの研修会の実施。

などが行われ、事業実施の度ごとに必要な資料を作成していたが、コミュニティづくりの気運が急速に全市各地区にま高ってくるに従って、あらかじめ資料を整備しておくことが必要となってきた。

また担当する職員によって誤った指導、助言をすることを避けるためにも必要があるということで、本年度の研究課題としてとり上げられた。

資料のおもな内容は次のような項目がとり上げられた。

- コミュニティとコミュニティづくりの必要性。
- コミュニティづくりの方法と手順。
- コミュニティの組織と運営。
- コミュニティ施設と整備計画。
- コミュニティ施設の管理、運営。
- コミュニティ柏崎方式。
- コミュニティ活動と公民館活動。
- コミュニティ活動と団体活動。
- 柏崎市におけるコミュニティづくりの現状(各地区での実践事例)

また資料のまとめ方として次の三種類の資料の作成が予定されている。

- 印刷物としての資料
B5判、縦型を標準様式とし、整理No.と一定の綴じ込み穴を附して、研修会や説明会の資料として1本ずつ独立して使用できるとともに、表紙をつけ整理No.順に綴じ込むことによって、まとまった資料としても使用することができるようにする。
- 掲示物としての資料印刷物としての資料
写真等を附し、大洋紙大のラシヤ紙縦型を標準様式とし、印刷物と同じく整理No.と一定の綴じ込み穴を附して、研修会や説明会で独立した資料として使用するとともに、展示会での展示物あるいは館内常時展示資料としても使用することができ、時には学校教育における教材用掛図の綴じ込みのように、綴じ込んで運搬、格納にも便利にする。
- 視聴覚教材としての資料掲示物としての資料をスライド化するとともに、解説用テープもあわせて作成をし、コミュニティ・リーダー等が地区内の町内や部落、あるいは団体等での説明会、研究会などで手軽に活用できるようなものにする。

6. む す び

以上、柏崎市における「新しいコミュニティづくりをめざす公民館活動」の実践例と、われわれのささやかな



公民館建設への国庫補助金が飛躍的に伸びて、遅ればせながらも県内の公民館建設の気運が急速に高まり、昨年は地元での全国大会開催と和まって公民館



らしいことが感じられる昨今の公民館である。年々、県内各市町村に派な公民館が建設され、公民館に対する住民と関係者の理解と期待が高まってきたことは、誠意がけいことであるが果してそれ

仏つくつたら魂も

徳間 助夫

振興市町村長連盟の支部も結成された。長かったトネル時代のことを思うと、まことに高揚のための自からの努力を惜しんでならないと思うのである

柏崎市でも一昨年の県大会を契機に、遅ればせながら職員自身にまよきまよきな努力が始められた。各係が担当職務の中から研究

(柏崎市中央公民館事務長)

研究の一端を記した。

もちろん、われわれの実践と研究には試行錯誤も多く、「コミュニティ柏崎方式」にしても最善の方式だとは思っていない。今後もあらゆる機会と場をとらえて、たゆまざる実践と研究をかさねてよりよいものにしてゆかねばならないと考えている。

昭和51年秋、東京都で開催された第25回全国公民館大会での「公民館の現状と将来への提言」をテーマとするシンポジウムで、田代元弥講師は昭和40年以来的全公連の専門委員のひとりとして、「専門委員会での研究の成果に対する現場からのフィードバックがきわめて遅く、少ない」ことを卒直に指摘しておられたが、これからの公民館活動振興のためには、中央と現場の関係者が一体となって、たゆまざる研究と努力が積みかさねられねばならない。

このたびの全公連の研究委託事業のような積極的な試みが、今後もさらに続けられることが中央と現場の連けいを深め、公民館活動を振興するものとわれわれは期待している。

われわれのささやかな実践と研究のレポートに対して、卒直なご批判とご指導を願うとともに、全国公民館関係者各位の一層のご健闘を祈ってやまない。(執筆責任者 柏崎市中央公民館 事務長 徳間助夫)

「柏崎市のコミュニティづくり」はいま、内外から注目されている。その骨子を、全公連から委託された研究レポートにより三回に分けて紹介する。

新しいコミュニティづくりをめざす

全国公民館連合会・研究委託レポート

(2) これからの公民館の役割

これからの公民館の役割については、社会教育審議会の答申や、「公民館のあるべき姿と今日的指標」にも示されている。われわれは、それらに示されている次のことを、これからの公民館の役割と考えている。

- ・あつまる 集会和活用 (基本的役割)
住民の自主的活動の援助
- ・まなぶ 学習と創造 (中核的役割)
学習機会の提供
- ・つなぐ 総合と調整 (究極的役割)
住民相互の結合

(3) 公民館のコミュニティづくりに果たす役割

以上のようなコミュニティの考え方、とらえ方、そして、これからの公民館の役割の考え方、とらえ方にもとづいてわれわれは、公民館のコミュニティづくりに果たす役割を次のように考えている。

- ・公民館は、コミュニティづくりにおける社会教育活動の中核である。
社会教育の部面のはたらきに、真正面からとりくむという意味での中核である。
- ・公民館は、コミュニティづくりにおける住民学習活動の推進役である。
地域の課題を掘り起す住民学習活動の推進役である
- ・公民館は、コミュニティづくりにおける公と民を結ぶパイプである。
住民の連帯感と自治能力を高めるための公と民を結ぶパイプである。

以上、卒直にわれわれの考え方、とらえ方を記したが、もちろん最善とは考えていない。さらにご指導ご批判をいただいで、よりよいものにしていきたいと考えている。

4. 当面する課題

新しいコミュニティづくりをめざして公民館活動を進めているわれわれの当面している課題について次に記してみたい。

(1) 地域特性からみた問題点

- 市街地域
 - ・「定住的住民」と「流動的住民」との心の調和をはかり、コミュニティ意識を生み出すにはどうしたらよいか。
 - ・住民が都市に対して持っている魅力と期待をどう把握したらよいか。
- 市街近郊地域
 - ・「定住的住民」と「流動的住民」の心の調和をはかり、コミュニティ意識を生み出すにはどうしたらよいか。
 - ・「ほどさ(期定高さ)」が優先する住民エネルギーを、コミュニティづくりにどう転化させるか。

○ 農山漁村地域

- ・「おらた」意識と「まき」意識は強いが、地域における連帯意識は狭隘である。これをコミュニティ意識に結びつけるにはどうしたらよいか。
- ・「日ぜに」稼ぎに追われる青壮年層の学習活動、文化活動への参加をどうしたらよいか。

(2) 発展段階からみた問題点

- ・コミュニティ意識の実態を、公民館としてどうとらえたらよいか。

(註) この問題点については昭和51年に、市街地域におけるコミュニティ意識調査が実験的に行われた。

- ・コミュニティ施設の建設と、それにとまなり住民主体の運営の意識をどのように醸成したらよいか。
- ・コミュニティづくりの発展にとまなり公費負担と住民負担の関係は、どうあったらよいか。

その他いくたの問題点はあるが、代表的なもののみ列記した。

5. 本年度の研究

われわれは、新しいコミュニティづくりを進める上で多くの課題の中から、年度ごとに課題を選んで実践と研究をかさねてきた。

本年度は、各係ごとに担当業務と関係ある課題を選んで、日頃の担当業務の実践とおしての研究を次のように進めている。

- 地域振興係 コミュニティづくりのための住民啓発用資料の作成。
- 事業係 コミュニティ活動と公民館活動の関係。
- 庶務係 コミュニティ施設の管理、運営に要する経費の公費負担と住民負担の関係。
- 事務長 地区指導員の研修内容と方法。

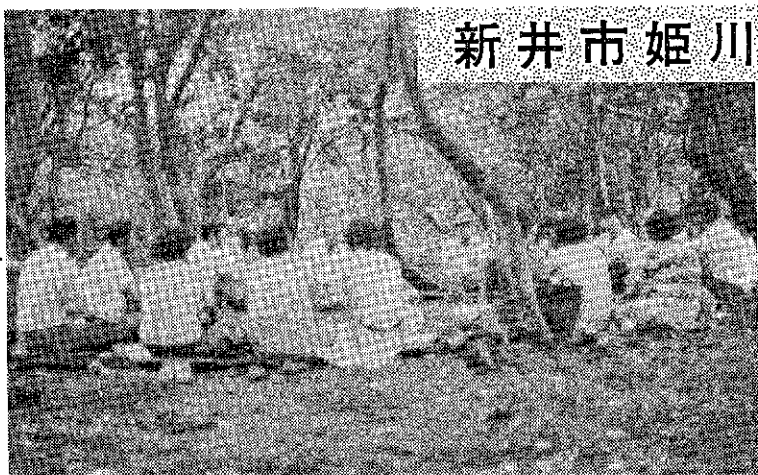
これらの研究は、担当する係ごとにまとめ定例職員会議をはじめ、必要に応じて館長会議、運営審議会にも研究協議課題としてさらに研究をかさね、年度末にはまとめて印刷物とし、関係者に配布するとともに、今後の業務の実践において活かすこととしているが、この中から地域振興係が中心となって研究をしている。

- コミュニティづくりのための住民啓発用資料の作成。
について以下記してみたい。

現在、柏崎市では長期計画に基づいて毎年2~3地区に、地区公民館と一体化したコミュニティ施設の建設が進められており、この建設業務は社会教育課が担当しているが、この施設の建設とあわせて新しいコミュニティづくりをめざした住民組織づくりが進められており、この住民組織づくりの推進役は中央公民館・地域振興係がその地区の公民館と一体となって担当してきた。

柏崎市における研究と実践

新井市姫川原分館



実践記録シリーズ

37

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

史跡研究会が発足

成人講座が生んだ連帯意識

昭和五十二年度の成人講座の一あるとき、成人講座の中で鳥坂城として、集団学習を通じて地域をとり上げた事は、本当に意義深連帯感と人間関係を豊かにしようとい事だと思っております。

◆活動経過◆

六月十廿年会員、老人会員とマインクロバスで城跡近くまで行き、長谷から鳥坂城についての言い伝えなどを聞き青年と老人間のコミニケーションをはかりました。

ひと休みして講師のお話をきく

鳥坂城の概略を説明しますと、川左岸の標高三五〇メートルほどの山頂部に築造された戦国武山城で、新井市大字姫川原字鳥坂城に所在し、多くの郷土家によって建仁元年(一一〇一)、城小太郎齊盛が鳥坂城によって、佐々木藤綱らと戦ったところと説かれています。(新井市史より引用)しかしながら時代の推移とともに鳥坂城についての関心も薄れ地元に住んでいながら城跡がどこにあったのか知らない年代が増えつつ

八月、壮年会員、婦人会員が城跡に建てられた石碑付近の草刈りをして、長年の研究者である地元福口一蔵氏を講師に現地を歩きながら、のろしを上げた場所、貯水塔、空襲被害はこのように使用されたものだと説明を受け、遠い昔の戦国時代に夢をはせました。九月、市の文化財担当者を引き、今後の鳥坂城の整備計画、調査等について懇談会を開きました。三月、一年間の反省評価の話し

合いを行いました。そして、壮年会長の呼びかけで、鳥坂城について地元の人々の関心も高まったので、今後鳥坂城についても多くの人が知っていただき、「先人の文化遺産をわれわれの手で守って行きたい」そのために正副研究者の組織化をはかることと連帯感の醸成が中継研究を発足に至った訳であります。

◆姫川原史跡研究会会則◆

- 第一条 本会は姫川原史跡研究会と称し、事務所を新井市公民館姫川原分館内に置く。
 - 第二条 本会は会員の親睦と融和を図ると共に、地域諸団体とも親睦融和を深め郷土の文化財の発掘と保存及び郷土の発展に寄与する事を目的とする。
 - 第三条 本会は前条の目的達成のため次の事業をむすぶ。
 - (一) 社会教育事業に対する協力。
 - (二) 地域の文化財の発掘とその保存につとめる。
 - (三) 文化財の県外流出防止につとめる。
 - (四) 本会は、第二条の目的に賛同する姫川原地区に在住する者を以て組織し、年令、性別は不問とする。
 - (五) 会長 一名
 - (六) 副会長 一名
 - (七) 会計 一名
 - (八) 本会は次の役員をおく
 - (九) 会長 一名
 - (十) 副会長 一名
 - (十一) 会計 一名
 - (十二) 本会の会務の進行は第五條の三役で協議のうえ行なう。
 - (十三) 本会の会則は、昭和五十二年四月一日より実施する。
 - (十四) 二年鳥坂城を研究してまいりまして、郷土に眠っている文化財に対する芽生えが地域住民に広まって来たこと、地域連帯意識が深まって来たことは、何よりも得がたい成果だと思っております。
- (新井市公民館姫川原分館 戸田正次郎)



会員による草刈り

新潟県教育モーター募集

目的 県民に広く県教育行政への参加を求め、その意見・要望を多組織的に継続的に聴取し、教育行政施策推進の参考とします。

仕事

- (1) 一年に三回程、県教育委員会が送付する文書に意見などを記入し回答していただきます。
- (2) モーター会議に出席して、口頭で意見を述べていただきます。

募集人員等 36人、任期1年、応募資格 教育について関心があり、教育モーターとしての仕事に熱意を保持している年齢20年以上の県民、ただし、常勤の公務員、職会議員などは不可。

謝礼等 四、五〇〇円(税込)、他にモーター会議に出席される場合は旅費を専ら支払います。

申込先 新潟市一番町通、県教育庁総務課広報係

申込方法 直接来庁されるか、または返信用500円切手をはり自分の住所、氏名を明記した封筒を同封して、新潟県教育モーター申込書、を請求してください。

申込受付期間 4月28日まで。

選考結果 6月上旬、直接本人に通知します。



学級からクラブ活動へ

活躍する見附市わかばコーラス

賛助出演の晴れ舞台にて

「わかばコーラス」の前身であり、現在の姿になりはじめたのが、今をさかのぼる三年前の秋、中央公民館の合唱クラブとしてスタートした。そのころは、ささやかな声掛けを交わしながら、週一回の活動を重ねてきた。親睦をはかるための茶話会やハイキングも実施したりもしたが、メインイベントは何となく合唱フェスティバルの参加でしかなかった。昨年の十月、柏崎市民館で開かれた県合唱連盟主催の「新潟県PTA研究会」への出演が見附での初興業といえます。地元であることの気恥しさも、見附の力強い応援にすっかり心丈夫になり、流麗なオーケストラ演奏にみちみちかかれて、カラオケのたいさばはかかるとは、夢見心地にうたった数分間で、クリスマスソングに愛用園のパーティーに反響(？)讃美歌をうたう経験も一回を教えました。こんなふうに書いてみると、歌をうたう経験も一回を教えました。こんなふうに書いてみると、歌をうたう経験も一回を教えました。

張戸 和恵

「わかばコーラス」の前身であり、現在の姿になりはじめたのが、今をさかのぼる三年前の秋、中央公民館の合唱クラブとしてスタートした。そのころは、ささやかな声掛けを交わしながら、週一回の活動を重ねてきた。親睦をはかるための茶話会やハイキングも実施したりもしたが、メインイベントは何となく合唱フェスティバルの参加でしかなかった。昨年の十月、柏崎市民館で開かれた県合唱連盟主催の「新潟県PTA研究会」への出演が見附での初興業といえます。地元であることの気恥しさも、見附の力強い応援にすっかり心丈夫になり、流麗なオーケストラ演奏にみちみちかかれて、カラオケのたいさばはかかるとは、夢見心地にうたった数分間で、クリスマスソングに愛用園のパーティーに反響(？)讃美歌をうたう経験も一回を教えました。こんなふうに書いてみると、歌をうたう経験も一回を教えました。

「わかばコーラス」の前身であり、現在の姿になりはじめたのが、今をさかのぼる三年前の秋、中央公民館の合唱クラブとしてスタートした。そのころは、ささやかな声掛けを交わしながら、週一回の活動を重ねてきた。親睦をはかるための茶話会やハイキングも実施したりもしたが、メインイベントは何となく合唱フェスティバルの参加でしかなかった。昨年の十月、柏崎市民館で開かれた県合唱連盟主催の「新潟県PTA研究会」への出演が見附での初興業といえます。地元であることの気恥しさも、見附の力強い応援にすっかり心丈夫になり、流麗なオーケストラ演奏にみちみちかかれて、カラオケのたいさばはかかるとは、夢見心地にうたった数分間で、クリスマスソングに愛用園のパーティーに反響(？)讃美歌をうたう経験も一回を教えました。こんなふうに書いてみると、歌をうたう経験も一回を教えました。

「わかばコーラス」の前身であり、現在の姿になりはじめたのが、今をさかのぼる三年前の秋、中央公民館の合唱クラブとしてスタートした。そのころは、ささやかな声掛けを交わしながら、週一回の活動を重ねてきた。親睦をはかるための茶話会やハイキングも実施したりもしたが、メインイベントは何となく合唱フェスティバルの参加でしかなかった。昨年の十月、柏崎市民館で開かれた県合唱連盟主催の「新潟県PTA研究会」への出演が見附での初興業といえます。地元であることの気恥しさも、見附の力強い応援にすっかり心丈夫になり、流麗なオーケストラ演奏にみちみちかかれて、カラオケのたいさばはかかるとは、夢見心地にうたった数分間で、クリスマスソングに愛用園のパーティーに反響(？)讃美歌をうたう経験も一回を教えました。こんなふうに書いてみると、歌をうたう経験も一回を教えました。

300号記念月報ファイル

綴じて保存しましょう

「県公民館月報」とじ込み用ファイルの販売します。

月報愛読者のために「新潟県公民館月報ファイル」を作りました。B5判の厚紙美麗紙に金文字を刻印した体裁のよいものです。

一冊分 300円(送料共)

五冊分 1,000円(〃)

申込先 県公連事務局

新しいコミュニティづくりをめざす公民館活動

—— 柏崎市における研究と実践 ——

昭和51年11月3日、優良公民館として文部大臣表彰を受けた柏崎市中央公民館では、この表彰を記念して昭和52年度から各係別に、日頃担当する業務の中から研究課題を選び共同研究をかさねてきたが、このほど1冊の資料「職員研究集録・昭和52年度版」としてまとめ発行するとともに、希望者には実費で頒布することとなった。柏崎市では現在、市政の重点施策として施設整備が進められるとともに、生涯教育の振興、コミュニティづくりの促進を重点目標とするユニークな公民館活動が全体的に進められ、全国的な注目を浴びている。右に職員研究集録の内容を紹介し、あっせんする。

柏崎市中央公民館・勤労青少年ホーム

職員研究集録・52年版

内容 B5判 82頁 1部 700円(送料共)

- ・新しいコミュニティづくりをめざす公民館活動
住民啓発用資料・コミュニティ問答集
コミュニティ・リーダー用資料
- ・コミュニティ活動と公民館事業
生涯教育事業1年の歩みから
- ・コミュニティ施設の管理、運営に要する経費の公費負担と住民負担の関係について
- ・公民館・地区指導員の研修内容と方法
- ・勤労青少年ホームにおける利用者の増大とその方策をさぐる

申込先 〒945 柏崎市諏訪町6-6 中央公民館内
職員研究会 (02572-2-2637)

あの頃のこと

ガムシヤラ公民館主事①

鈴木 孝

社会教育に直接かかわりをもつ。たきかけは、三十一年一月村連合青年団長になってからである。当時、公民館主事であった川秀雄氏の指導で、まさに青年団の隆盛期。その年四月川川氏から「公民館で社会教育をもつてみないか」とすめられ勤務、いきなり青年学級主事を命ぜられた。当時、公民館活動は内外から注目されるほど充実しており、中でも新生活運動と青年、婦人の学習活動が盛んで、屋敷をわかつた活躍する職員をみて「病気になるのが不思議」な位で果して、私にできるのかと不安を感じた。

しかし「社会教育に一生を捧げよう」と生念にも、命がけでもつてみる決意で飛び込んだ。ただ、握ってはいられない。

また、県内市町村には独立した施設をもつところが少ないので、村に本館と、ほとんどの部落で分館が設けられ、茶の間に利用されていた。石川氏の熱意と活動の業績に、石川氏は深い感銘を受けた。石川氏とは、わすか一年短かい期間であったが、法はないか」は、ずっとあとを考へてきたことであるが、その頃は全く考えの余裕すらなかった。たまたまがむしやら……

生活改善の一環として公営結婚の普及は、すでに二十四年前から行われていた「結婚おひこ」の広報活動が、全国広報コンクールで入選した。この入選が村民の公民館に対する理解と信頼を大きくしたもので、活動をすすめるうえでも新生活運動の進展があまりにも大きいために、このように、ことごとく石川氏の活動があまりにも大きいために、後進は許されないう責任は、まさに「三才の秘」にこそ精神的な負担がゆえに、いかに……

生活改善の一環として公営結婚の普及は、すでに二十四年前から行われていた「結婚おひこ」の広報活動が、全国広報コンクールで入選した。この入選が村民の公民館に対する理解と信頼を大きくしたもので、活動をすすめるうえでも新生活運動の進展があまりにも大きいために、このように、ことごとく石川氏の活動があまりにも大きいために、後進は許されないう責任は、まさに「三才の秘」にこそ精神的な負担がゆえに、いかに……

た。はじめに担当したときのことである。新館新館が正面に座ることとは当然のことと思われたが、父の顔が顔面でも、母の顔は顔面でもない。せがれは酒の飲み番で、い。それだめなら公営結婚はしな。」「と囁きされ、やむなく新館の席を設けられた。そのとき、父は、涙れられな思ひ出として、今も、ときどき、二日三回、互協の高揚に役立った。

をかけたもで行うなど、年二〇回程度の利用があり、私の手で行なうた。ただ、二〇組はあったろうな気がする。

新生活運動推進協議会の組織も各層を網羅した大規模のもので、冠婚葬祭などを中心に生活改善の中心に生活改善の推進活動も、申し合せ事項」の美談活動も、当時としては、当を得たもので相違ない。

筆者紹介
三十二年四月公民館勤務、三十八年十月社会教育主事、四十年四月農政課農政係長、四十二年七月総務課庶務係長、四十六年八月総務課企画係長、四十八年八月企画課長、五十二年一月任職補選課長となり現在に至る。

資料 歓迎
公民館で作成した資料や文芸作品または書籍などを、ご厚意で送ってくださいませんか。県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思っております。

投稿 歓迎
感想文でも結構、折にふれて気軽にペンを走らせてください。採用文には粗品を差し上げておきます。

あ と が き
県庁という強大な行政機構は、繪封に知恵が回りかゝるよううなところがあり、一寸の虫をかんろするようなところがあります。たてまとして、そのよみな傾向を否定しても、実際はフルトラーサーのような行政の体制が、それを無視してしまっています。

研修テキスト 公民館経営ハンドブック <4分冊>

日常出版株式会社
監修 湯上二郎 学者
著者 斯界実務家共同執筆
A5判・4冊セット(函入) 定価3,000円
送料120円
各冊・定価800円
送料120円
現代公民館研究会/編

●主な目次と執筆者

第1分冊 公民館の使命と組織	
1 生涯教育と公民館	湯上 二郎
2 公民館の歴史	安原 昇
3 コミュニティの形式と公民館の役割	湯上 二郎
4 館長と主事の職務	吉瀬 純一
5 公民館運営審議会の運営	光安 常喜
第2分冊 公民館の経営と管理	
1 公民館と法律問題	伊藤 俊夫
2 公民館の設計と施設管理	林 健生
3 公民館の予算編成と経理	西ヶ谷 悟博
4 公民館経営の診断	朝比奈 博実
5 図書館や博物館との連携	佐々木
第3分冊 公民館活動の企画	
1 公民館活動の立案	安原 昇
2 公民館活動の評価	岡本 包治
3 公民館調査の進め方	渡辺 史直
4 公民館広報の着眼点	樋上 亮一
5 クラブ・サークルの育成	沢田 正夫
第4分冊 公民館活動の展開	
1 学級・講座の開設と運営	春日 英明
2 集会・行事の企画と運営	楠谷 忠洋
3 図書室の利用と相談事業	中島 俊教
4 視聴覚教育の技法	宮本
5 体育・レクリエーション活動	日本レクリエーション協会

※各分冊ごとに……
①公民館質問箱 ②公民館関係文献の解題と要録
巻末に①公民館年表 ②索引を掲載・果公連あつせん